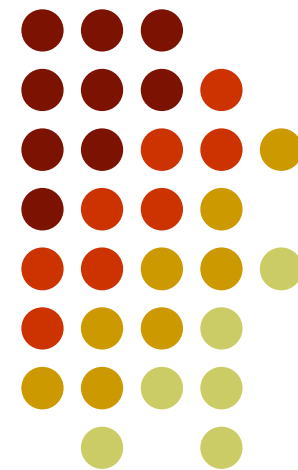


# マイバッグ使用の規定因 の検討

生活文化学科 安藤ゼミ  
07461377 佐々木 暁子





# 1. 目的

- 地球温暖化

マイバッグ使用による温室効果ガス削減

- 環境配慮行動

杉浦,2003

環境認知と行動に食い違いがみられる

(広瀬,1994)



規範的影響・行動へのコスト評価



- マイバッグ使用という環境配慮行動はいかにして実施されうるのか。
- 店舗側からのマイバッグ使用推奨の程度の差は、マイバッグ使用行動が実施されるまでのプロセスにどのような影響を与えるか。

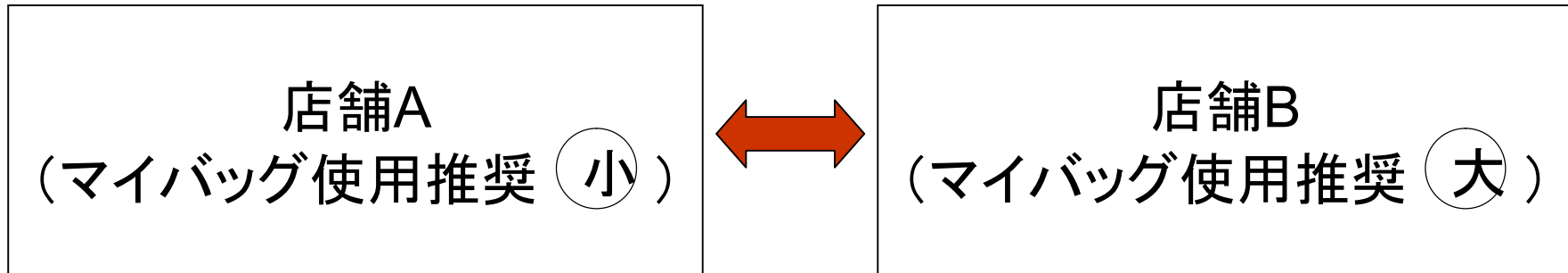




## 2. 方法

- 予備調査1 アンケート調査  
質問項目の妥当性を検証。  
調査期間:2010年4月～5月  
店舗A:26名
- 予備調査2 参与観察  
マイバッグ使用の現状を調査。

# 本調査

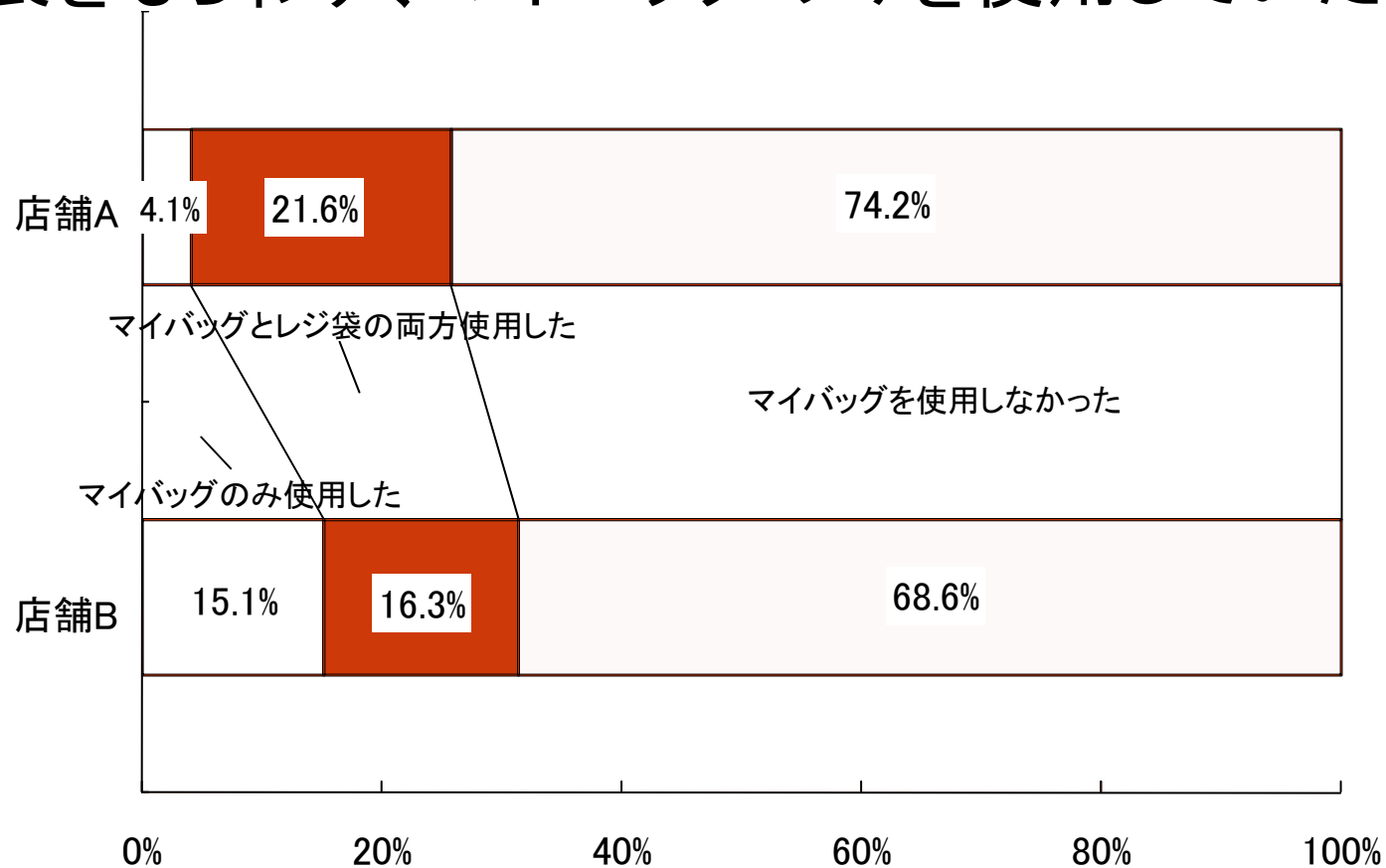


- マイバッグ使用に関する評価。
- 店舗A、店舗Bに出向き、買い物し終わった来客者に声をかけ、アンケート用紙に記入をお願いした。
- 調査期間: 2010年11月～12月
- 店舗A: 98名 店舗B: 87名



### 3. 結果と考察

- 当日、店舗Aよりも店舗Bへの来客者の方が、レジ袋をもらわず、マイバッグのみを使用していた。



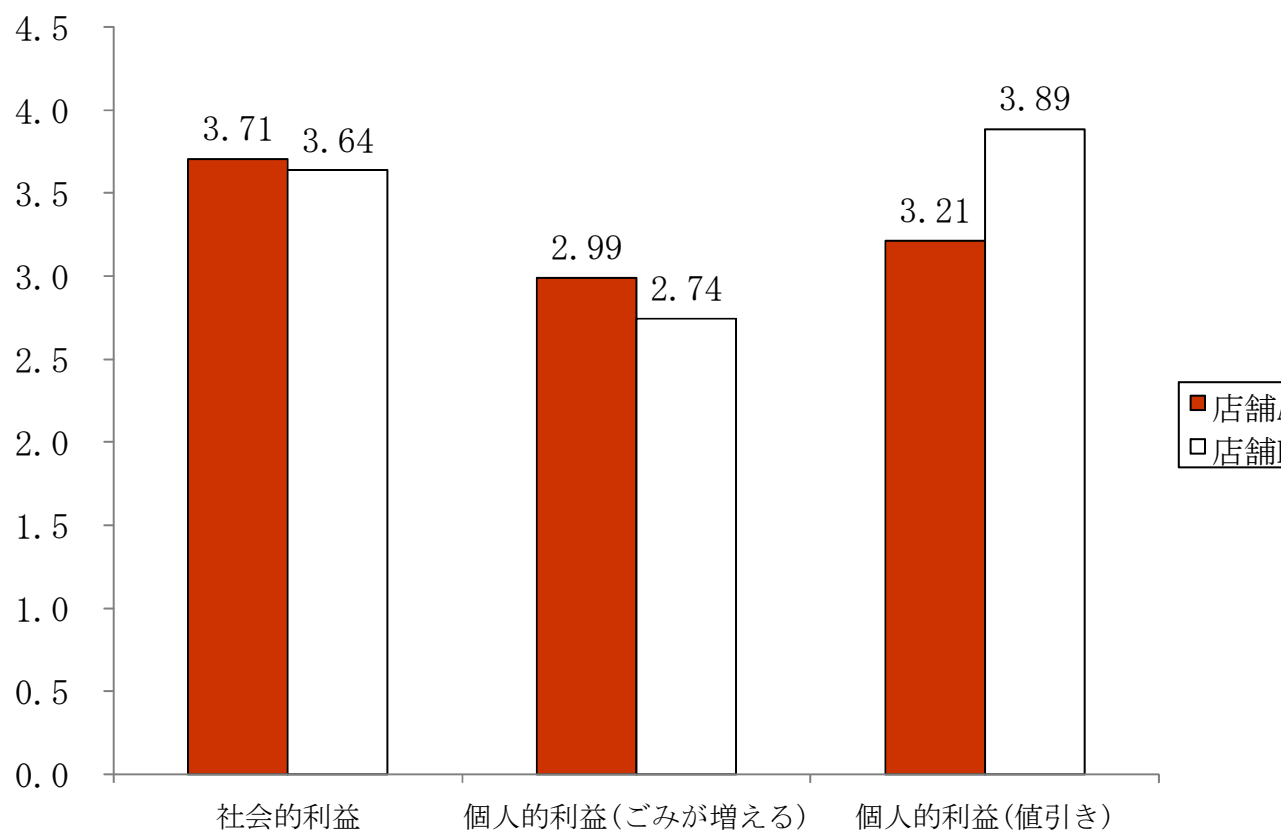


- 店舗側からのマイバッグ使用推奨はマイバッグ使用率向上に関係している。



# 平均値

- どちらの店舗においても、社会的利益・個人的利益について、肯定的な態度を持っていた。

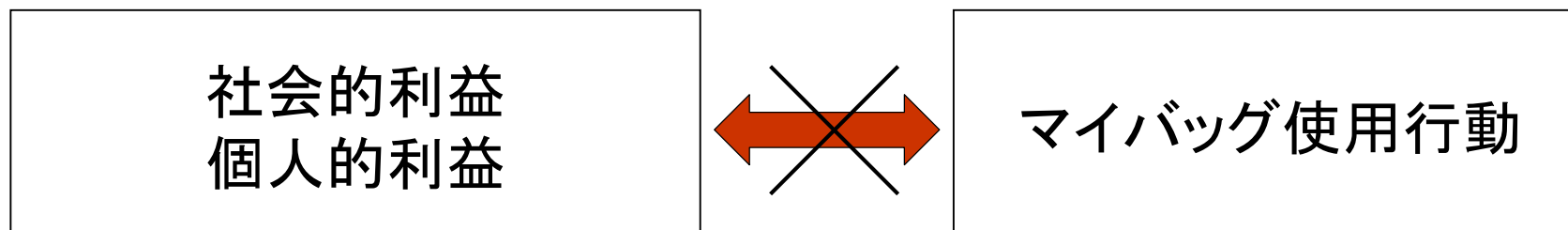




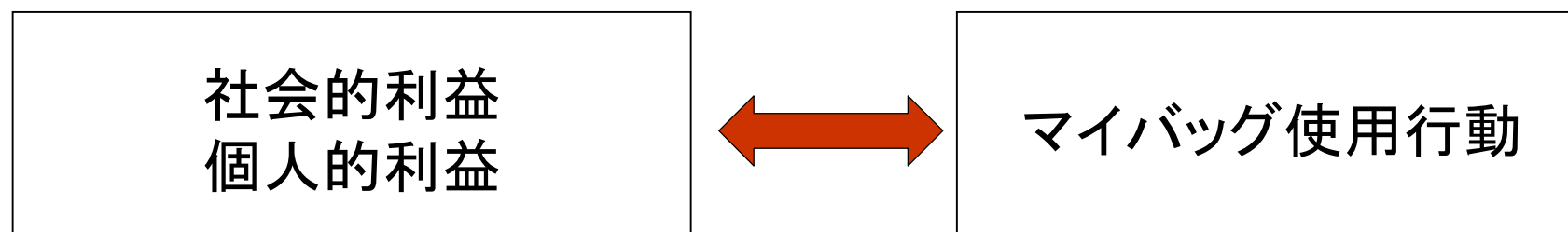


# 相関係数

- 店舗A(マイバッグ使用推奨 (小) )



- 店舗B(マイバッグ使用推奨 (大) )





- マイバッグ使用推奨の程度を大きくする。

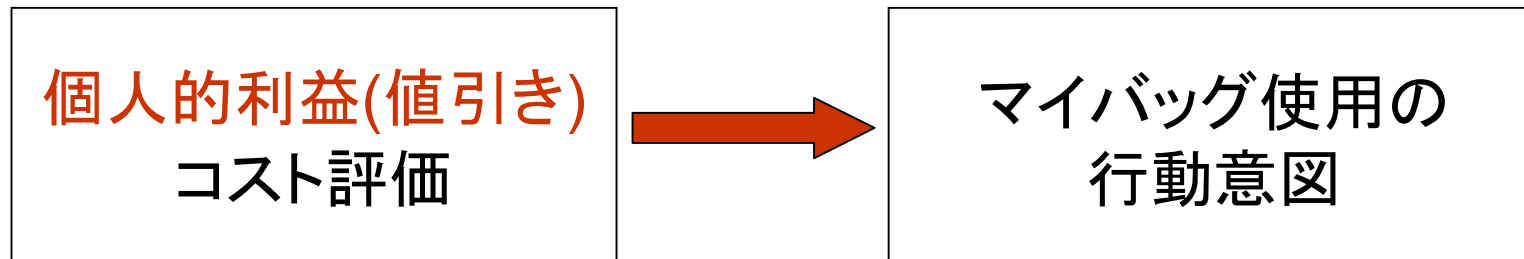


マイバッグ使用への肯定的な態度(社会的利益・個人的利益)が実際の行動に関係してくる。

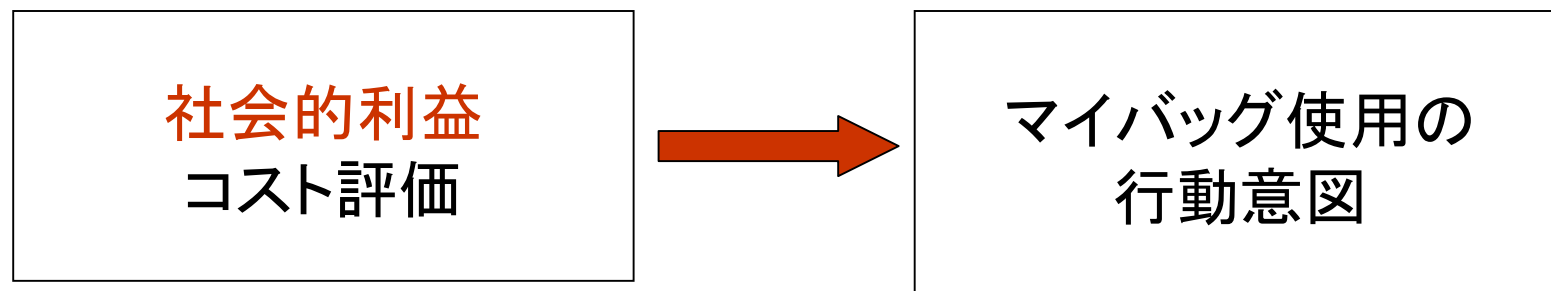


# 重回帰分析

- 店舗A(マイバッグ使用推奨 (小) )



- 店舗B(マイバッグ使用推奨 (大) )

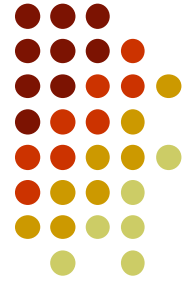




- マイバッグ使用推奨の程度を大きくする。



環境配慮に貢献できているという意識(=**社会的利益**)が実際にマイバッグ使用しようという気持ちにつながる。



## 4. まとめ

- 店舗側からのマイバッグ使用推奨によって、
  1. マイバッグ使用への肯定的な態度を持っているだけでなく、実際の行動に関係してくる。
  2. 環境配慮に貢献できている(=社会的利益となる)という意識がマイバッグ使用の行動意図の規定となる。

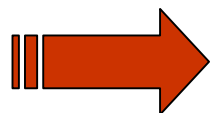


## スーパーマーケット

店舗側からのマイバッグ使用推奨  
人とのふれあい



規範が形成される



マイバッグ使用が  
促進される。